

令和5年 第860回小浜市教育委員会定例会 会議録

|   |               |          |                   |       |       |
|---|---------------|----------|-------------------|-------|-------|
| 開催日時  | 令和5年10月13日(金) |          | 開会 15:30 閉会 16:00 |       |       |
| 開催場所  | 市庁舎4階401会議室   |          |                   |       |       |
| 出席委員  | 窪田教育長         | 上田職務代理者  | 村上委員              | 桂田委員  | 坂下委員  |
| 欠席委員  |               |          |                   |       |       |
| 事務局   | 谷教育部長         | 内田教育総務課長 | 日比野生涯学習スポーツ課長     | 松宮 GL | 井上 GL |
|   | 和久田 GL        | 安田企画主査   |                   |       |       |
|   |               |          |                   |       |       |
| 傍聴者   |               |          |                   |       |       |
| 会 議   |               |          |                   | 会議の結果 |       |
| <p><b>委員会開会</b></p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>DX化が急速に進む中、学校教育のDX化が多方面に渡って重要な課題として取り上げられている。本日、学校訪問で加斗小学校6年生の授業を参観したが、タブレット端末を駆使した授業が行われていた。コロナ禍において、まずは一人一台端末をできるだけ多く使用することが目標であったが、現在では、有効なソフトを導入し、いかに効果的に活用していくか、端末をとにかく使用する段階から使用内容の質が問われる段階へと移行してきている。そのような中、再来週には嶺南6市町の教育長協議会の視察研修で、全国の先進地である愛知県春日井市へ出向き、ICT機器を活用した小中学校の授業改善の取り組みを視察させていただく。参考となる取り組みを小浜市へ多く持ち帰りたいと考えている。</p> <p>小浜市では、今年度は小学校において有償のドリルソフトを導入した。AIドリルが効果を上げていることが実証されている中で、それらを活用してどのように個別最適な学びを保障していくかが重要になってくる。中学校は、今年度は学校の意見を尊重して導入を見送ったが、やはり必要であろうという考えから、来年度の導入を前提に再度試行を進めてもらう予定である。ICT機器を活用して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をどうマネジメントし、子どもたちの資質能力を育成していくかがますます重要になっている。</p> |               |          |                   |       |       |

学校訪問を通して、教育委員会として子どもたちの教育環境を整えるにあたり、財政的な措置に加えて、どのように学校現場を支援していくかが重要な課題であると改めて感じた。教育委員の皆様からも、学校訪問を通して感じられたことについて、忌憚のないご意見をいただきたい。

## 1 会議録の承認について

第859回教育委員会定例会会議録 《承認》

### 会議録署名人2名の選任

第860回教育委員会定例会会議録署名委員選任 《桂田委員、坂下委員》

## 2 報告

- ・報告第15号 小浜市教育委員の任命について 《承認》
- ・報告第16号 諸般の報告 令和5年9月15日～令和5年10月12日  
行事予定 令和5年10月13日～令和5年11月30日 《承認》

## 3 教育長報告

小浜市ではこれまでから人権教育に力を入れて小中学校で取り組みを進めているが、その中核に位置付けているのが拉致問題である。先週10月6日には、拉致被害者の横田めぐみさんのご家族である横田拓哉氏を講師に招き、講演会を開催した。第一部は市内の中学三年生を対象とし、第二部は小浜市の教職員の約半数と市民を対象に、文化会館で講演していただいた。

また、10月15日には、嶺南地域枠で入学した福井大学の2年生に、選択必修科目である「嶺南地域学B」において、小浜市では拉致問題を学んでもらうことになっている。この「嶺南地域学B」は、今年度は小浜市と美浜町が講座を受け持つことになっており、小浜市の講座を受講する学生に拉致問題を学んでもらうものである。午前中は庁舎で座学を中心に理解を深めてもらい、午後からは小浜公園の拉致現場へ足を運んで研修してもらう。将来教員としてしっかりと子ども

たちに拉致問題の理解学習の指導ができることを願い実施する。さらに、10月31日には「拉致問題を考えるオンラインこども会議」を実施する。これは初めての試みであり、小浜市・佐渡市・柏崎市の3市の小学生がオンラインで繋がり、自分たちに何ができるかを協議してもらう。

10月はこの3つの大きな取り組みに力を入れて取り組む。

小浜市は拉致問題を人権教育の中核に位置付けているが、各学校では年間カリキュラムの中で拉致問題以外の多様な人権問題を取り上げて学習しており、年間を通して様々な教材を用意して、人権に関する知識・理解・思考力・判断力・表現力を高める取り組みを進めている。

#### 4 その他

なし

#### 委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 坂下 貴洋 教育委員

委員 桂田 理津子 教育委員